

# ～チャレンジ桜井～



## オーストラリアの小学校との交流

校長 金子 祐治

今月は、本校の特色ある教育活動として今年度から始めた「オーストラリア（メルボルン）の学校との国際交流」についてご紹介いたします。

横浜市とメルボルンの交流は、平成27年度から始まり、継続して活動を行っています。この活動は、横浜市立小学校長会が行っている「専門研究校」の取組の1つで、

○互いの国民・市民理解と認め合い                      ○異文化に対する意識と相互文化の尊重

○日豪の友好関係を促進する機会を提供              ○定期的な交流を通して友好関係を促進

などをねらいとしています。今年度新たに4校の新規募集があったので、「交流」を重点にしている本校でもと思い応募したところ、桜井小学校が交流校として選ばれました。

交流校はメルボルンにある「セントオールバンスハイツ小学校」です。両校の担当者同士がメールやZoomのやり取りで計画をたて、先月、第1回目のZoomによる6年生の交流が行われました。最初は音声が出ないハプニングもありましたが、6800km以上離れた国と国で、リアルタイムのコミュニケーションをとることができ、相手校の画面が映った時は、自然に歓声と拍手が沸き起こり、子どもたちは大興奮でした。日本語や英語で互いに自己紹介や質問をしましたが、中でもオーストラリアの子どもたちがマンガ「ワンピース」を知っていることに一番盛り上がっていました。今後は他の学年も手紙、写真やビデオ等の交換を通して交流を実施する予定です。



視聴覚室での交流の様子

外国語活動、外国語の授業も定着し、国際理解教室と共に各学年で英語を使った授業が展開されています。回数は限られていますが、授業や活動を通して基礎的なコミュニケーション能力、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、国際的な視野を広げることを目指して、これからも様々な取組を進めてまいります。



現地校のノーリー先生